

2021年卒
Vol.8

6月1日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリアス就活 2021 学生モニター調査結果 (2020年6月発行)

2021年卒業予定者の採用面接が今月1日に正式に解禁され、就職活動が山場を迎えている。ただ、今年は新型コロナの影響で選考時期を遅らせる企業も目立つ。6月1日現在のキャリアス就活・学生モニターの就職活動状況を調査したところ、内定率が前年同期を約7ポイント下回っていたことがわかった。

内定状況のほか多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 6月1日時点の内定状況

- 内定率は64.0%。前年同期実績(71.1%)を7.1ポイント下回る
- 就職活動終了者は全体の35.2%。前年(43.9%)を8.7ポイント下回る。継続者は64.7%

2. 就活継続者の動向

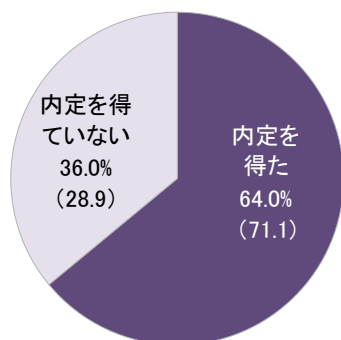
- 内定を得ても就職先を決めていない理由「本命企業がまだ選考中」55.1%
- 未内定者の4人に3人(76.9%)は「内定の見通しが立っていない」

1. 6月1日時点の内定状況

6月1日現在の学生モニターの内定率は64.0%。先月調査(5月1日現在)の50.2%から1カ月で13.8ポイント上昇したものの、前年実績(71.1%)を7.1ポイント下回る数字となった。前々年(2019年卒者、65.7%)をも下回った。就職戦線は売り手市場を背景に早期化が進んできた。今年も序盤は早いペースで進行していたが、緊急事態宣言が出された4月以降は採用活動が停滞する企業が目立ち、内定出しのペースが鈍化。5月調査では前年同期比微減にとどまっていたのが、この1カ月で前年との差は広がった。

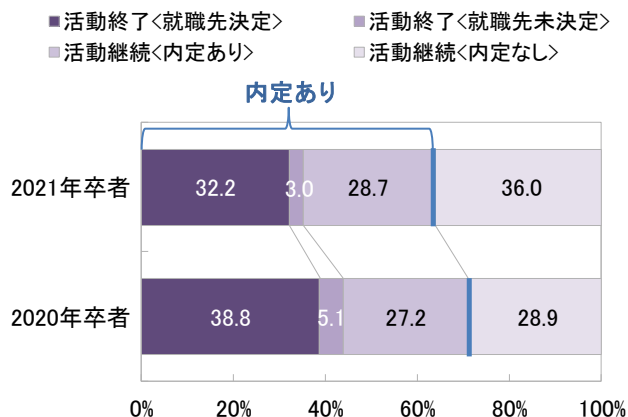
調査時点で就職先を決定して就職活動を終了した者の割合は32.2%。複数内定を保留しているなど未決定である者(3.0%)を合わせると終了者は35.2%。前年(43.9%)より大きく減少した。

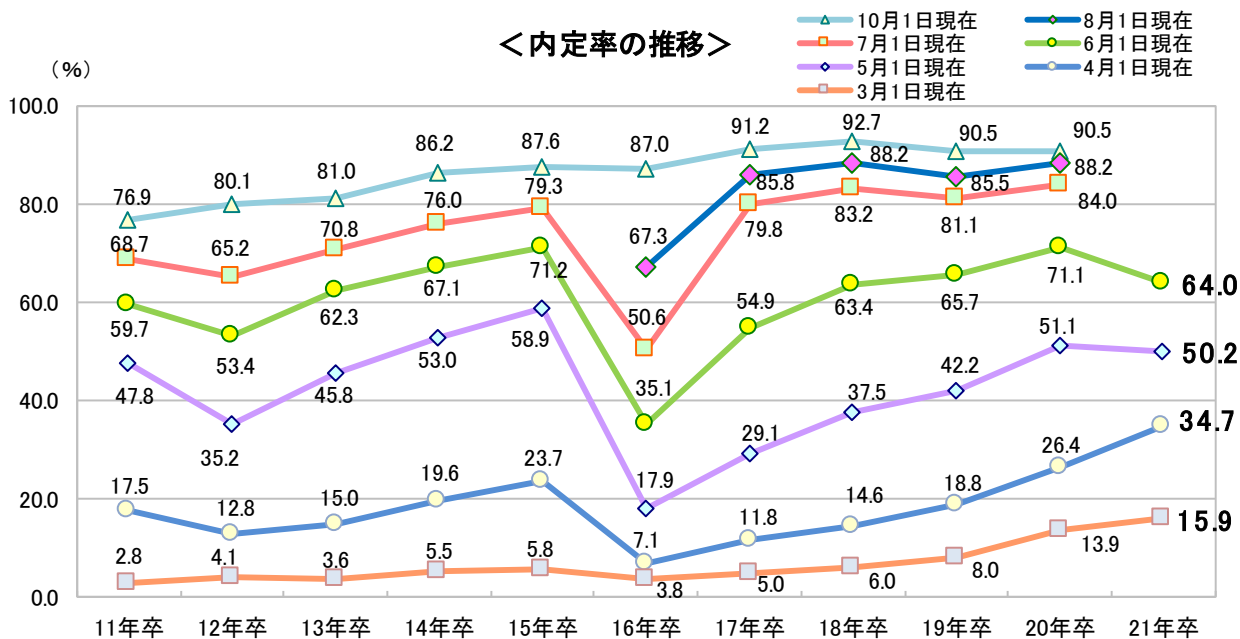
〈6月1日現在の内定状況〉



*「内定」には、内々定を含む
※()内は2019年の同調査での6月現在の数値

〈6月1日時点の活動状況の分布〉





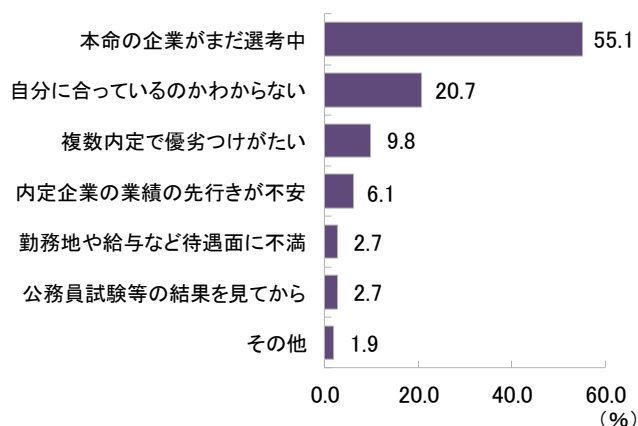
※15年卒までは選考解禁は4月、16年卒は8月、17～21卒は6月 ※15年卒以前は8月のデータはなし

2. 就活継続者の動向

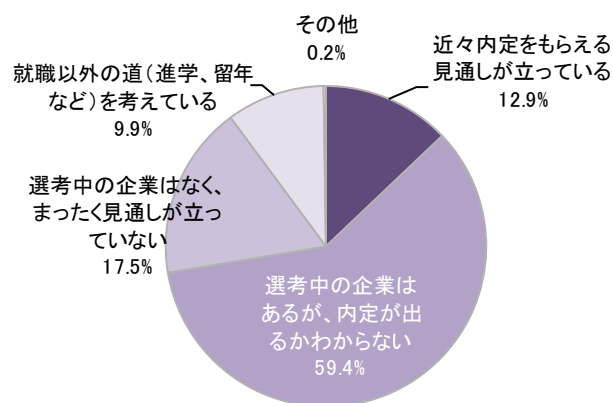
内定取得学生のうち就職先を決めていない者にその理由を尋ねると、圧倒的に多いのが「本命の企業がまだ選考中」で半数を超えている（55.1%）。本命企業の結果次第という状況だ。

一方、未内定の学生には内定獲得の見通しを尋ねた。「近々内定をもらえる見通しが立っている」は1割強（12.9%）にとどまり、最も多いのは「選考中の企業はあるが、内定が出るかわからない」（59.4%）。ここに「選考中の企業はなく、まったく見通しが立っていない」（17.5%）を足し合わせると76.9%になり、未内定者の7割強が先の見えない状況にあるようだ。

＜内定保持者が継続する理由＞



＜未内定者が内定を得る見通し＞



調査概要

- 調査対象：2021年3月に卒業予定の大学4年生（理系は大学院修士課程2年生含む）
- 回答者数：1,204人（文系男子379人、文系女子355人、理系男子330人、理系女子140人）
- 調査方法：インターネット調査法
- 調査期間：2020年6月1日～4日
- サンプリング：キャリアス就活2021学生モニター